

講演会

人口・リプロダクティブヘルス・ジェンダー

—産む性・育てる性と私の人生—

自らの能力や可能性を活かして生きることと結婚・出産・育児。日本ではなぜ女性のほうがその両立がむずかしいのでしょうか。そもそも産む性、育てる性とは女性のことでしょうか。

医学が捉えてきた性差・性分化、「性と生殖の健康とその権利」、生殖補助医療といったテーマについて、医師の立場から解説いただくとともに、人口爆発や少子化という世界の人口問題にも広げてご講演いただきます。

グローバルな時代における「私の人生」を若杉先生と考えてみませんか？

2013年10月18日(金) 16:30~18:00
(開場 16:00)

会場

大隈記念講堂 小講堂 (定員300名)

講師

筑波大学大学院生命環境科学研究科

環境ディプロマティックリーダー育成プログラム 教授

若杉なおみ 氏

対象： 学生・教職員・一般

主催： 男女共同参画推進室

共催： キャリアセンター、ジェンダー研究所

後援： 文化企画課

事前申し込み不要・入場無料

お問い合わせ先 ▶ 男女共同参画推進室 (下記参照)

早稲田大学男女共同参画推進室 <http://www.waseda.jp/sankaku/>

早稲田キャンパス

東京都新宿区西早稲田1-6-1 10号館213
電話 03(5286)8572 FAX 03(5286)1429
Email: sankaku-office@list.waseda.jp (共通)

西早稲田キャンパス

ワークライフバランス・サポートセンター
東京都新宿区大久保3-4-1 60号館214
電話 03(5286)8482 FAX03(5286)8498

● 講師紹介 ●

若杉なおみ (わかすぎなおみ) 氏

現職：筑波大学大学院生命環境科学研究科
環境ディプロマティックリーダー育成プログラム教授



東北大学医学部卒業後、1986年まで国立小児病院や自治医科大学で小児科医として臨床にたずさわる。その間、またその後、パリのネッセル小児病院とバスツール研究所にて免疫学や感染症(特にエイズ)の基礎研究に従事。帰国後メルク万有分子生物学研究所にてエイズ薬のための研究に従事。その後、国立国際医療センター国際医療協力局(および同研究所・疫学統計研究部長)にて、アジア・アフリカ諸国への国際保健医療協力に従事。JICAやWHOの委託を受けて20数ヶ国の開発途上国の現場で感染症・エイズ、ジェンダー、保健医療改善のためのプロジェクトの計画と実施に関わる。早稲田大学大学院政治学研究科科学技術ジャーナリスト養成プログラム客員教授(2006年~2010年。「医療と社会」、「開発と健康・ジェンダー」などの講義を担当)を経て、2010年より現職(「環境と人間健康」「地球規模感染症」「人口・リプロダクティブヘルス&ライツ・ジェンダー」などの講義を担当)

- 【論文】 「FGMの起源と文化-女性の健康とジェンダー・セクシュアリティの視点から」:
『地域研究』(国立民俗博物館地域研究企画交流センター・平凡社)6(1)、199-220、2004
『「人間の安全保障」とアフリカのエイズ」:
『アフリカ研究』(日本アフリカ学会)71(12)、73-84、2007
など多数。

● 会場へのアクセス



- 電 車
JR山手線 高田馬場駅下車 徒歩20分
西武新宿線 高田馬場駅下車 徒歩20分
地下鉄東京メトロ東西線 早稲田駅下車 徒歩5分
地下鉄東京メトロ副都心線 西早稲田駅下車 徒歩17分
- 都 電
(三ノ輪橋-早稲田) 早稲田駅下車徒歩5分
- 都バス
学02 (高田馬場駅前-早大正門) 早大正門下車すぐ
早77 (新宿駅西口-早稲田) 早大正門下車すぐ
早81 (渋谷駅東口-早大正門) 早大正門下車 すぐ

「早稲田文化芸術週間2013」(10月14日~10月30日)では様々な文化イベントを実施しています。
スケジュールは9月下旬よりWebサイト・リーフレットをご覧ください。

<http://www.wasedabunka.jp/>